

Book Review

これならできる！ 歯科医院ホームページ 最初の一步

鷺沢直也 著

Reviewer

登坂邦彦

(新潟市歯科医師会会長)

B5判, 80頁
定価 3,780円
(本体 3,600円+税 5%)
医歯薬出版刊



四半世紀前の話になるが、医院の経理処理に初めてパソコン（NECのPC-98）を購入した。大枚をはたいて購入した外付けハードディスクの容量が30MBだったことを考えると、隔世の感がある。ワープロが一太郎、表計算はロータス123がスター的なソフトだった。本書の著者の鷺沢先生は、当時からロータスを駆使して、データベースのはしりとも言える歯科医院で使える便利なソフトをいろいろ考案され、私もユーザーとして加わり、使い勝手についてお互い熱く語ったことが懐かしく思い出される。その後も鷺沢先生には、歯科医師会の会員ネットワークの構築、テレビ会議システム、会誌のデジタル化など会務のIT化に知恵袋として参画してもらっている。

治療内容を患者さんにわかりやすく説明するシステムづくりは、二人の以前からの目標であり、また一步、夢の実現に近づいたと期待している。本書は、患者減少に頭を痛め、閉塞感で悶々と日々を送っている多くの院長にとって福音書となると確信している。歯科治療の需要がなくなったわけではなく、多くの方々がどこで適切な治療を受ければ良いか迷われている現状

に、どのように対応すべきかを明確に指し示す内容である。そういった意味で、著者の言われている「情報提供型歯科医院づくり」というテーマは大いに共感できるところである。

ITの発展により、患者さんが医院を探す方法はタウンページからインターネットへと代わっている。ホームページを立ち上げてみるが一向に改善が見られず、アクセス数も少なく店晒し状態のホームページが数多ある。本書では、多くの業者が乱立しているなかで、医院の姿を必要としている方に正しく伝えるために、どのような注意や知識が必要なのか、何から始めたら良いのかが平易な言葉で説明されている。テーマごとに説明されているので、各自の一番興味のあるところからすぐに取り組める構成も読者としてありがたい。これから初めてホームページに取り組まれる方は、立ち上げる自院のホームページのイメージをしっかりとつことができる。すでに立ち上げている方にとっても、今後の展開について多くの示唆が盛り込まれており、すぐに取り組める改善点や手順も見えてくるはずである。

ホームページ作成の成書と言えるだ

けの内容を網羅しているにもかかわらず、よく練られた全体構成と紙面づくりにより、とてもコンパクトにスッキリと仕上げられている。ホームページの作成手順に沿った6つのテーマごとに課題と問題点が階層形式に整然と整理され、対策は簡潔にまとめられ、1つの課題を1面に納め、テーマごとにカラーを統一するなど、読み手の理解を助ける細かな配慮が感じられる。少し大きめな文字も老眼の始まった私にはとても嬉しい。

そして何より、本書の素晴らしさは、ホームページを見る（情報を探す）側の要求に的確に答える視点を基調にしている点である。多くのホームページが自院のすばらしさを切々と訴えがちであるが、求める情報が見当たらないければ、ユーザーはすぐにほかへ移っていく。ホームページの最終目標である来院につなげるための「仕組みづくり」にも、著者の長年培ったノウハウが盛り込まれている。

「患者さんの来院導線をイメージしたホームページの設計図」「WEBマーケティングに基づいたホームページ作成」に興味を感じた方は、ぜひ一読ください。